



碧南ロータリークラブ週報

第2864回例会 平成30年4月18日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



ロータリー:
変化をもたらす

- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一

● 齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のお弁当

小伴天

● 本日のお客様

KURATA PEPPER Co., Ltd 代表 倉田浩伸様

● 本日の卓上花

サファリサンセット

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。田畑さん、褒めていただきましてありがとうございます。他所に出向されるということですが、ご活躍をお祈り申し上げます。

本日のお客様の倉田さんと話をしている時に私は横文字に弱いもので、ペッパーのことをペーパーと言ってしまい、申し訳ございませんでした。卓話を楽しみにしておりますので、よろしくお願い致します。

政治的なことは言いませんけども、知らなくてビックリしたことがあります。この前ニュースを見ていて、前文部科学事務次官の前川さんが名古屋の中学校でスピーチされたと思ったら、とんでもない話で実は去年の12月3日に西尾でやられていたということで、全然知りませんでした。そのくらい前川さんは全国的に有名人になっておりますけども、野党の方は辞めさせる時にはボロカスに言っていたのに今は持ち上げているということで、なんかおかしい世の中だなと思っております。

今日の雑学は、「1日に起こること」ということで、春になると1日に日本列島に飛来する



木村徳雄会長

黄砂はどのくらいかなと思ったら、なんと1日に約10万トン飛んできているそうです。偏西風に乗ってくるのですけども、どこからきているかというと、中国の内陸部の乾燥地帯のゴビ砂漠やタクラマカン砂漠からです。1番嫌なのは、細かいのでPM2.5などが引っ付いてきて、健康を害するという事です。黄砂が飛来する期間中に65歳以上の高齢者の死亡率が2.2%高くなったり、心臓血管系疾患や気管支系での死亡率が4.1%高くなったり、眼科への通院が6.2%高くなったり、色々なことが増えているということがございます。因みに春になると1日に飛散するスギ花粉は、1平方センチメートルあたり100~400個飛んでおります。

そんなことがありまして、細かいものが飛んできますけども、健康に留意して春の家族会ではマスクなしで声援を送りたいなと思っております。

ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りでございます。
- ・ 2017-18年度地区大会事務局より、地区大会記録誌と地区大会実行委員会事務局閉鎖のお知らせが届いております。
- ・ 本日、関係委員長の皆様方に事業報告書の提出のお願いをお配り致しました。期日までに必ず提出していただきますよう、よろしくお願い致します。
- ・ 週末が家族会ということで、次週の25日(水)は振替休会となります。また、5月2日(水)も定款により休会となります。従いまして、5月9日(水)が次回の例会となります。5月よりクールビズとなりますので、上着着用・ノーネクタイで結構でございます。バッジは必ずお付けください。あと、例会終了後に理事会がございますので、関係の皆様方のご出席よろしくお願い致します。
- ・ 本日の例会終了後に第7回の60周年記念正副委員長会議が201号室にて開催されますので、関係の皆様方はよろしくお願い致します。



角谷信二幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 67名 (内出席免除者 16名の内出席者 11名)出席者 53名	
出席対象者 53/62名	出席率 85.48%
欠席者 14名(病欠者 0名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

木村 徳雄君 3クラブ参加者の皆さんありがとうございました。無事にホストが終わりました。

- 角谷 信二君 4月12日(木) 3クラブゴルフ大会、当クラブブッチギリの団体優勝でした。
- 鈴木 健三君 } 15日の地区研修・協議会及び、次年度第1回クラブ協議会にご参加を頂き、ありがとうございます。
角谷 修君 }
- 加藤 良邦君 去る、4月3日毘沙門天春大祭、お陰様にて天候に恵まれ無事に終える事が出来ました。感謝。
- 清澤 聡之君 先日、岡島さんに大変お世話になりました。
- 竹中 誠君 日曜日の地区協議会は大変でしたが、夜は楽しかったです。ありがとうございました。
- 新美 雅浩君 } 鈴木健三会長エレクトにお世話になりました。
栗津 康之君 }
大竹 密貴君 }
平松 則行君 }
- 長田 和徳君 この度、由仁町の三川小学校で、新事業を開始することになりました。北海道にお寄りの際はぜひ、いらしてください。ゴルフ場も4つもあります。
- 苅谷 賢治君 本日の卓話講師 倉田浩伸様を御紹介させていただきます。
- 石川 綱逸君 先日行われました、3クラブ親睦ゴルフ大会でHCPに恵まれ、優勝させて頂きました。木村会長から素晴らしいバカラのグラスを頂きました。大事に使わせて頂きます。
- 昨日、メーテレ「ドデスカ」に、おもいのフライパン紹介して頂きました。縁あって、4月29日(日)日本テレビ「シューイチ」でも紹介して頂きます。お時間のある方は是非観てください。
- 杉浦 邦彦君 4月12日(木)に開催されました、3クラブゴルフコンペで優勝させて頂きました。ハンデが甘かったみたいですので、次回からは5つ減らして参加します。次回も優勝狙って頑張ります。ありがとうございました。
- 田畑 慎也君 4月末をもって退会いたします。皆様の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

卓 話

「5ミリの黒い粒から世界平和を考える」

KURATA PEPPER Co., Ltd 代表 倉田浩伸様



倉田浩伸様

皆さん、こんにちは。ご紹介いただきまして、どうもありがとうございます。凄く緊張しております。諸先輩方がたくさんいらっしゃる中で、私がお話させていただくということで、滅相もないという気持ちもありますが、ただ、カンボジアに25年という在住歴を持っておりまして、皆さんよりもカンボジアのことに関しては見知が多少あるのかなということで、よろしくお願い致します。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、カンボジアは東南アジアにある国で、インドシナ半島にあります。インドシナ半島という名の如く、カンボジアはインドと中国の両方からの影響を受けております。元々、カンボジアという国は雨・水が非常に多いエリアでありまして、この当時に1番よく言われていたのが、「水を制するものが国を制す」というふうに言われておりました。川の水が氾濫する、しかもその水はヒ素が混ざっていてなかなか使えないということもあって、カンボジアの地元の人たちは雨水をいかに溜めるかということに非常に着目しておりました。ですので、アンコールワットの遺跡も雨水を溜めるための遺跡です。こういう大きな遺跡の周りには直径2km×8kmという大きな人造の農業用貯水池があります。東に1ヶ所、西に1ヶ所必ずあります。カンボジアには今、観光地として1番最初に登録されたのがアンコールワットなので、非常にアンコールワットが有名ですが、同じ規模のものがあと3ヶ所あります。この3ヶ所にも東と西に巨大な農業用貯水池を設けております。

私は首都のプノンペンに住んでおまして、人口は340万人で名古屋が270万人ぐらいですから、名古屋よりも少し多く、しかもプノンペンの広さは名古屋の半分ぐらいですので、非常に人口密度の高い所です。今は中国の資本で22~30階建ての建物がそこら中に建っております。カンボジアは中国からの投資ラッシュが盛んです。現時点で1,800万人の人口を要しているのですが、今後5年の間に中国からの移民によって2,300万人まで増えると言われております。

KURATA PEPPERは小さいお店で経営しております。KURATA PEPPERの畑はどこにあるかと言いますと、カンボジアで唯一の熱帯雨林のエリアにあります。年間4,000mmの雨量があります。しかも土地が他の平らな所はメコン川が運んできた土砂で作られているのですが、このエリアだけは海が隆起した砂地になっているので、コショウの生産には非常に適しております。世界で昔からコショウの産地と言われている所は、熱帯雨林+砂地という条件であり、この条件でないとなかなかコショウの栽培は難しいと言われております。

私、倉田がカンボジアでこんなことをやるようになったかということ、私はこの1粒に世界平和を懸けております。両親が第2次世界大戦の空襲を経験しておまして、空襲の中を逃げ惑った話を小さい頃によく聞かされておりました。なんで戦争なんて起きるんだろうと思っておりました。第2次世界大戦が終わって日本も平和になって世界から戦争がなくなると子供の頃はなんとなく思っておりました。それが中学校に入って世界史の教科書を見ると、ベトナム戦争の写真が載っており、私が生まれた後にも世界では戦争が続いていることを知りました。第2次世界大戦であんなにみんな辛い思いをしたのになんで戦争って起こるんだろうと思い、凄く興味がベトナム戦争に向いていきました。そうこうしている中学3年生の時のことなんですが、私の誕生日を家族のみんなが忘れておりました。4つ上の兄が1ヶ月前の9月に誕生日で、私が10月なんですが、誕生日の次の日に「昨日何の日だったか知ってる？」と兄に聞いたら、「木曜日じゃない」と茶化してきたので頭にきて自分の部屋に帰ったら、兄が後から追っかけてきて、「食事中なのになんだその態度は」と言ってきたので、兄と殴り合いのケンカになりました。翌朝、私は口も利かずに学校に行って、兄も両親を見送っ

た後にバイクに乗って大学に行ったのですが、昼間に私が帰ってきたら警察から電話があって、「お兄さんがバイクの事故で亡くなったから遺体を引き取りに来てほしい」と言われました。母親は東尋坊に慰安旅行に行っており、父親は名古屋に出張に行っていましたので、なかなか連絡がつかないということで親戚のおじさんに車を出してもらって引き取りに行きました。そういう時期から生きるってなんだろう、自分はなんのために生まれてきたんだろう、なんのために生きているんだろうと凄く考えさせられるようになりました。兄が亡くなったことで毎日ケンカしている両親を見ている中で、自分がやりたいことをやらないと損だと思ふようになり、無理矢理両親に頼んで、オーストラリアに行かせてもらいました。オーストラリアでの思い出というのはあんまりなくて、帰りが急遽直行便で帰ってこられなくなったものですから、香港に寄ることになりました。その時にトランジットの時間があり、「100万ドルの夜景を見せに連れてってあげるよ」と添乗員の方に言われたのですが、その手前で私が目にしたのは九龍城というスラム街でした。日本ではなかなか目にしない光景を見た時に自分はこういうエリアに生まれてこなくて良かったと思ってしまう。格差が世の中にあるということも凄く心が痛かったですが、なんで世界の人には与えられた命に均等にチャンスを与えられていない、なんでそういう社会が生まれてくるのだらうと思ひ、自分の中にみんなが平和で幸せに生きていけるような社会を作っていきたいという大きな目標ができ、そんな仕事に就きたいなというふうにはぼんやりと思ふようになりました。タイミング良く帰ってきてすぐに「キリング・フィールド」という映画に出会いました。この映画を見てカンボジアに興味を持ち、独学でカンボジアのことを勉強するようになりました。

大学は亜細亜大学という所に進むのですが、大学の学長が NGO を作っておりまして、学長に嘆願してカンボジアに NGO の隊員として派遣していただきました。行けば何かしらお手伝いができると思ふカンボジアに勤しんで行ったのですが、着いた初日に空港で売っているペットボトルの水にあたってしまい、体調を崩してしまいました。自分が持ってきた医薬品を真っ先に自分が飲む、一緒に付いてきた医療班の先生の最初の患者になる、挙句の果てに3日間休まないといけないということで、カンボジア人のスタッフに看病してもらいました。自分は何をしにカンボジアまで来たのだらうと思ひました。日本人であれば行けば何かしらできるのだらうという傲りがありました。しかし、日本人といっても学生なんか何の役にも立たない、生きる生き方すら知らない、日本の社会の中では生きる生き方を知っていても、インフラも何も整っていない所で生きるということを学んでこなかったということを知らされました。そこから何も整っていない環境の中でも幸せそうに楽しく生きているカンボジアの人たちからもっと色々な生き方を学びたいと思ひ、そのまま NGO に現地で就職してカンボジアで学校を作る活動をやりました。しかし、校舎を作っただけでは世界は変わりませんでした。結局、両親の所得が上がらないと学校に通える子供たちが増えない。最終的に学校教育をみんなが受けられるようにするにはどうすればいいんだらうということで、会社を起業する、産業を興さないとダメだという結論に至りました。元々、カンボジアは農業国なので、まずは農業を復活させること。そして、復活した農業から出た余剰を貿易して得た外貨で最終的にはカンボジアの人たちが経済的自立をする、ということを目指して会社を作りました。

みんなが仲良く平和に暮らしていくためには、色んな考え方や生き方があって、それぞれを多様性として尊重し合って生きていくことで、最終的に戦争がなくなって平和な国作りができるんじゃないかなというふうに思います。世界中の人々が与えられた命を精一杯生き抜ける平和で幸せな暮らしができるように、これからもこの小さい5ミリの粒に願いを込めながら黒コショウを作っていきたいと思っております。

今日はどうもお話を聞いていただきまして、ありがとうございました。

次回例会案内

平成30年5月16日（水）

クラブフォーラム「地区研修・協議会報告」